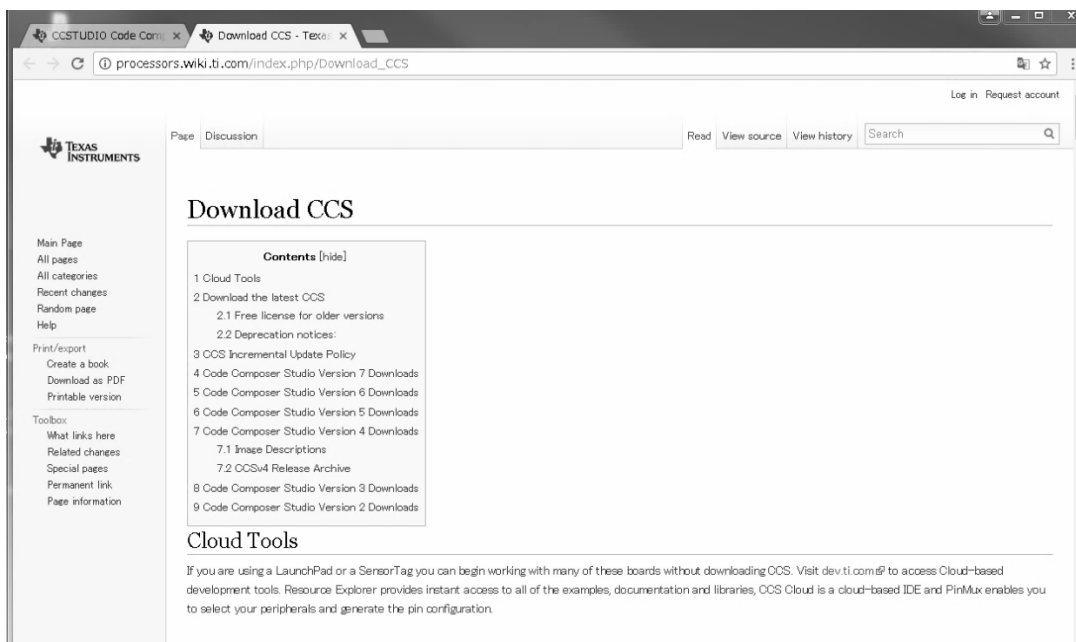


ここでは先に紹介した MSP430 の開発のための環境構築について軽く説明します。

- Code Composer Studio IDE インストール手順。(2017 年から無償になりました！)

1. Download CCS のサイトにジャンプします。

「http://processors.wiki.ti.com/index.php/Download_CCS」






2. サイト内「Download the latest CCS」の中からダウンロードするファイルを選びます。

「Offline installer」をオススメされていますので、お使いの OS の「Offline installer」を選んでください。

「windows」「Mac OS」「Linux 64bit」が対応しています。

(ここからは環境が windows の例で進めます。)

Download the latest CCS

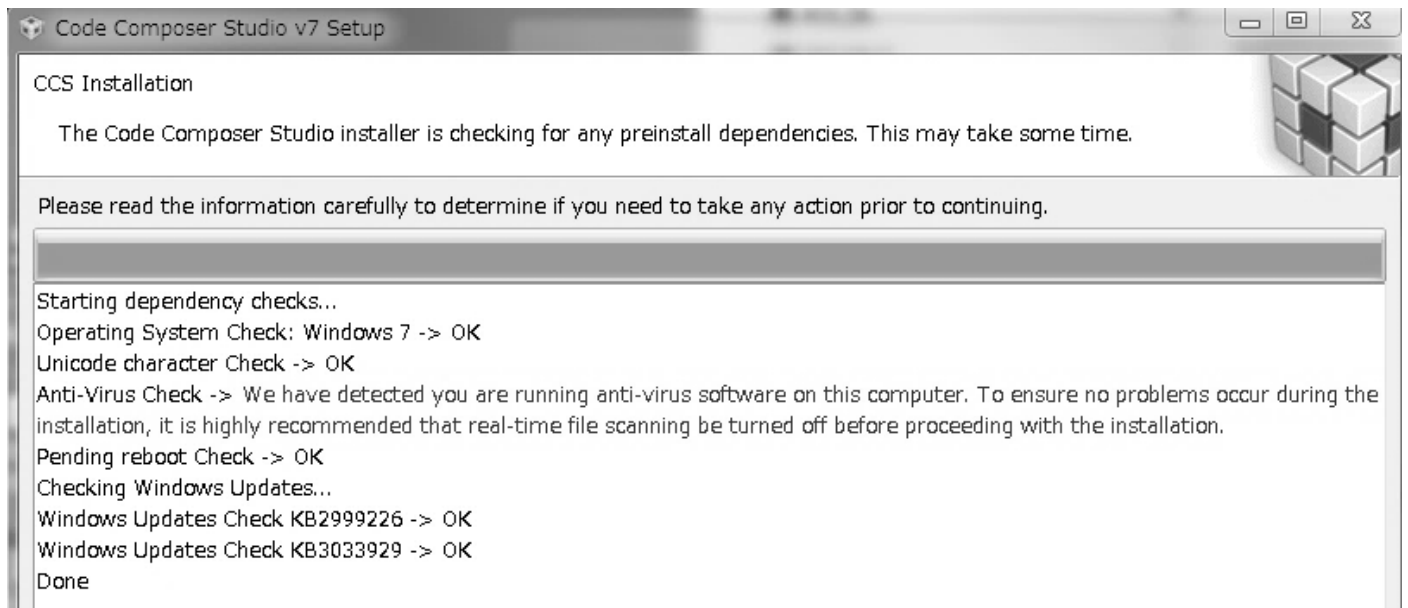
Download 7.3.0.00019	Installers (Offline installer is recommended for slow and unreliable connections)
Windows	Offline Installer  Online Installer 
Mac OS	Offline Installer  Online Installer 
Linux 64bit	Offline Installer  Online Installer 

3. ZIP ファイルのダウンロードが始まります。およそ 1GB ありますので時間がかかります。

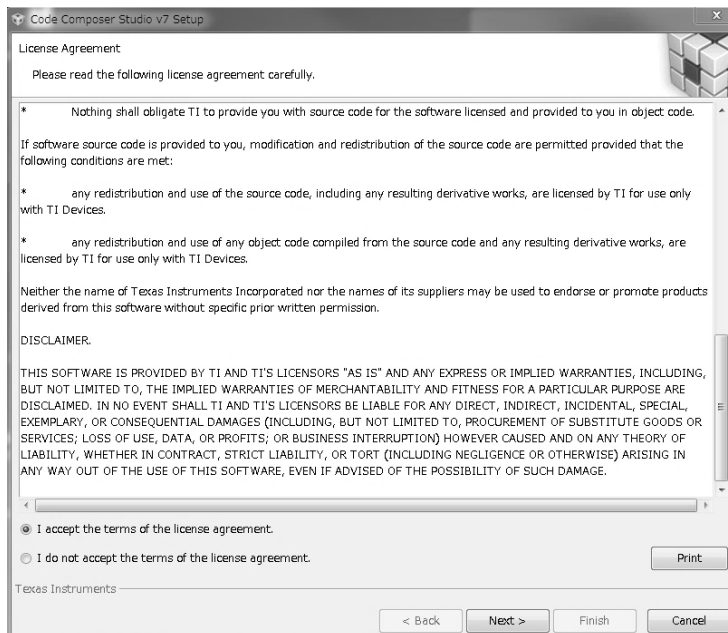
4. ZIP ファイルを解凍したら、フォルダ内の「ccs_setup_7.3.0.xxxxx.exe」(最新の CCS)を実行します。

名前	更新日時	種類	サイズ
baserepo	2017/10/04 14:19	ファイル フォル...	
binary	2017/10/04 14:19	ファイル フォル...	
featurerepo	2017/10/04 14:20	ファイル フォル...	
features	2017/10/04 14:20	ファイル フォル...	
artifacts.jar	2017/10/04 14:17	JAR ファイル	1 KB
ccs_setup_7.3.0.00019.exe	2017/10/04 14:17	アプリケーション	16,152 KB
content.jar	2017/10/04 14:17	JAR ファイル	3 KB
README_FIRST.txt	2017/10/04 14:17	テキスト文書	1 KB
timestamp.txt	2017/10/04 14:17	テキスト文書	1 KB

※実行中、アンチウイルスソフトが入っていると、「安全だからアンチウイルスソフトのリアルタイムチェックを切ることをおすすめします」といわれますが、それはあまりお勧めできません。



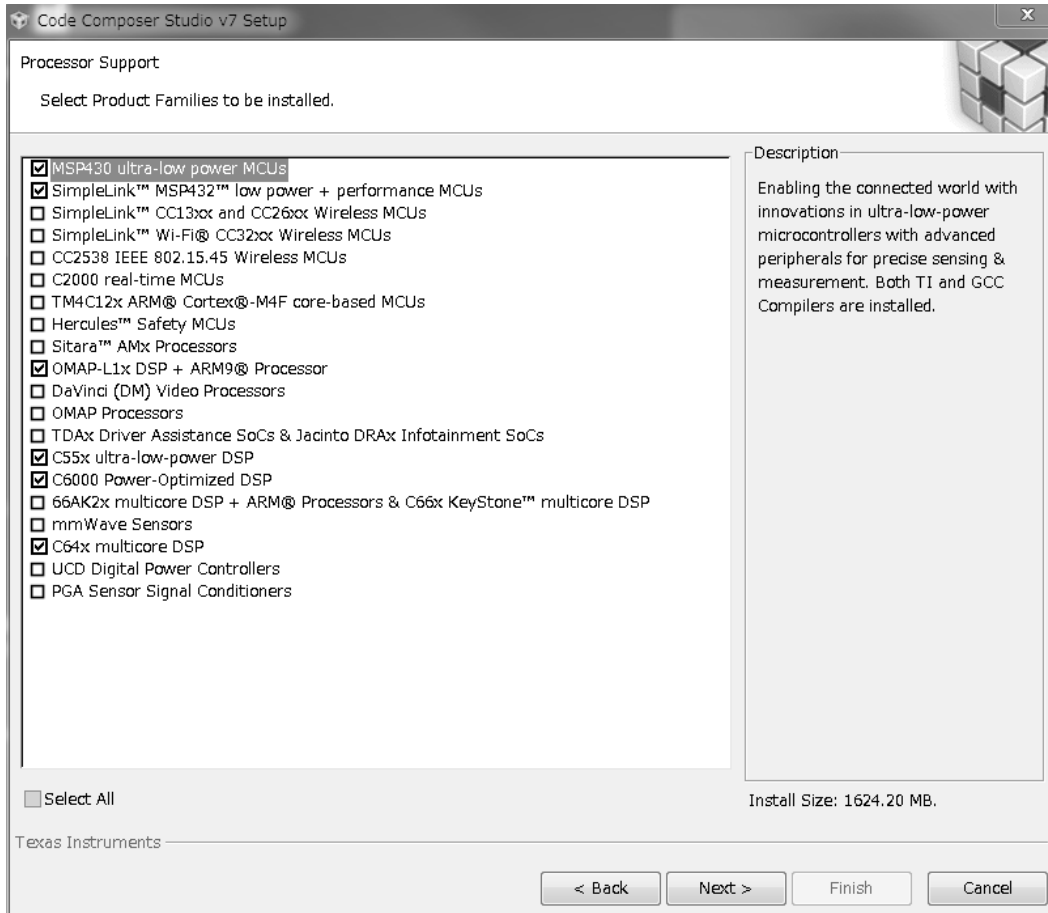
5. 利用規約を読んで(全編英語)同意するかチェックします。同意すると次に進みます。



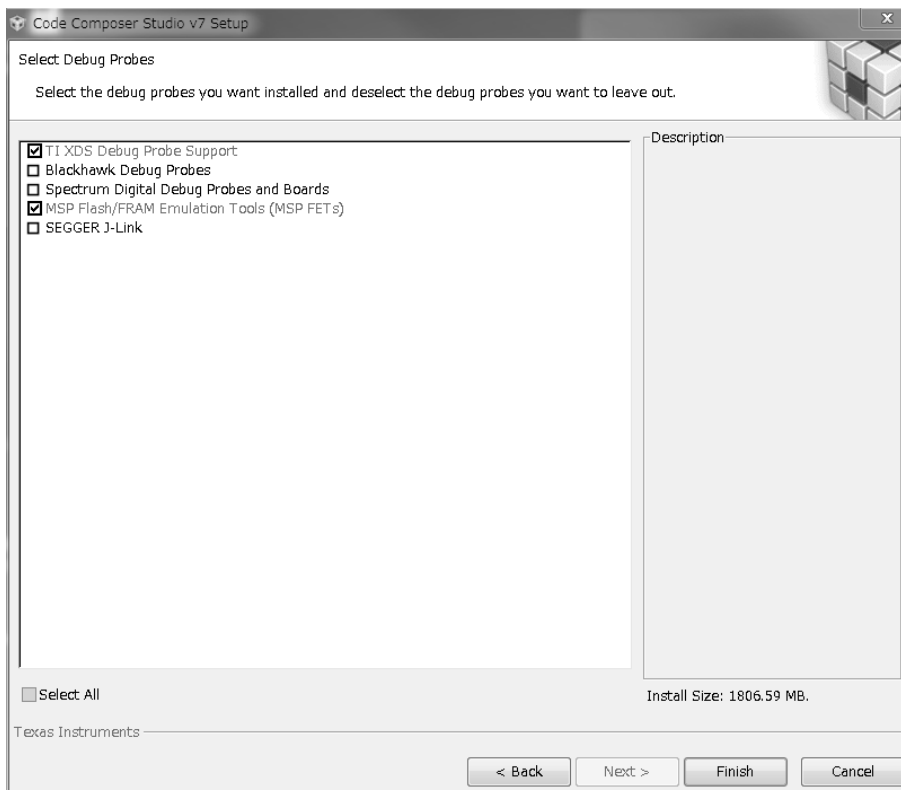
6. インストール先を選びます。デフォルトで「 C : ¥ti 」が選ばれますが、不都合があれば自分で選びます。選んだら、「 Next > 」をクリックします。



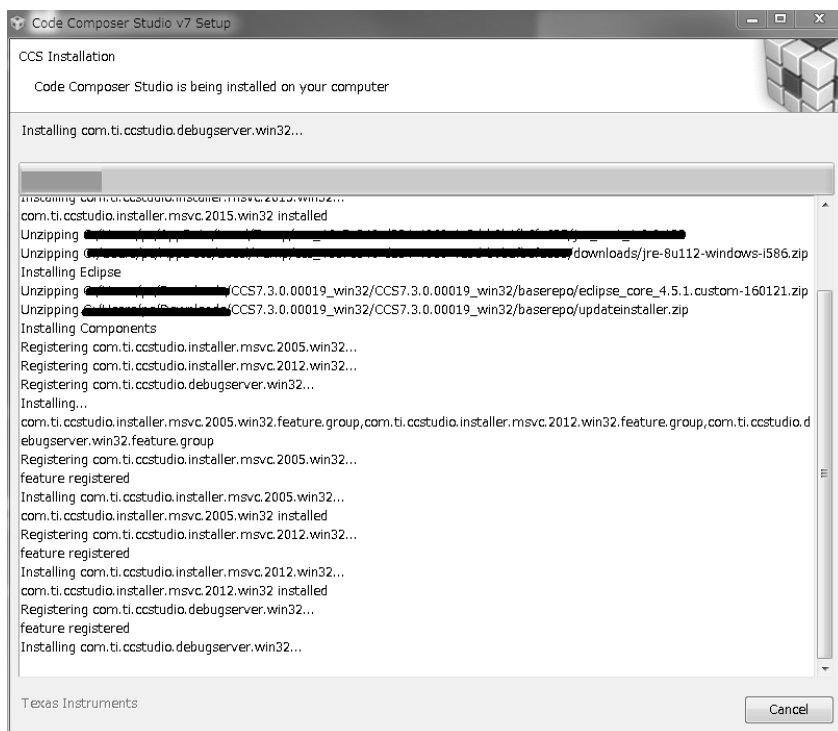
7. 使用するプロセッサを選びます。今回必要なのは **MSP430** なので「**MSP430**」を選びます。
(※無償になったので選んだプロセッサが全部使えます。 筆者は欲張っていろいろ入れました。)



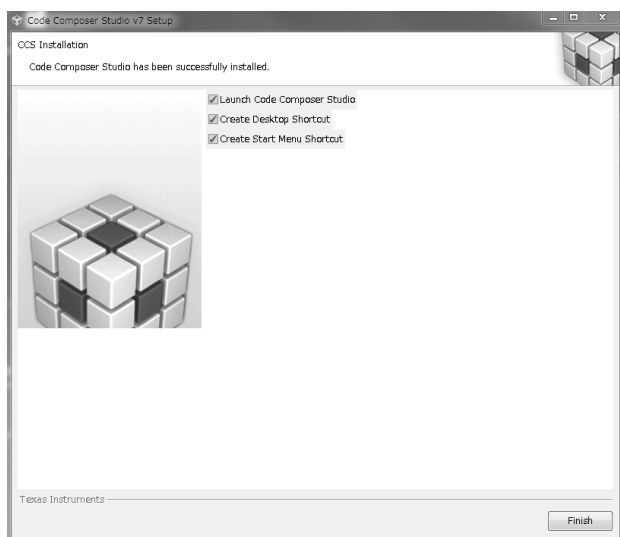
8. デバックプローブを選びます。MSP430 ではあまり使わないのでデフォルトで **Finish** です。



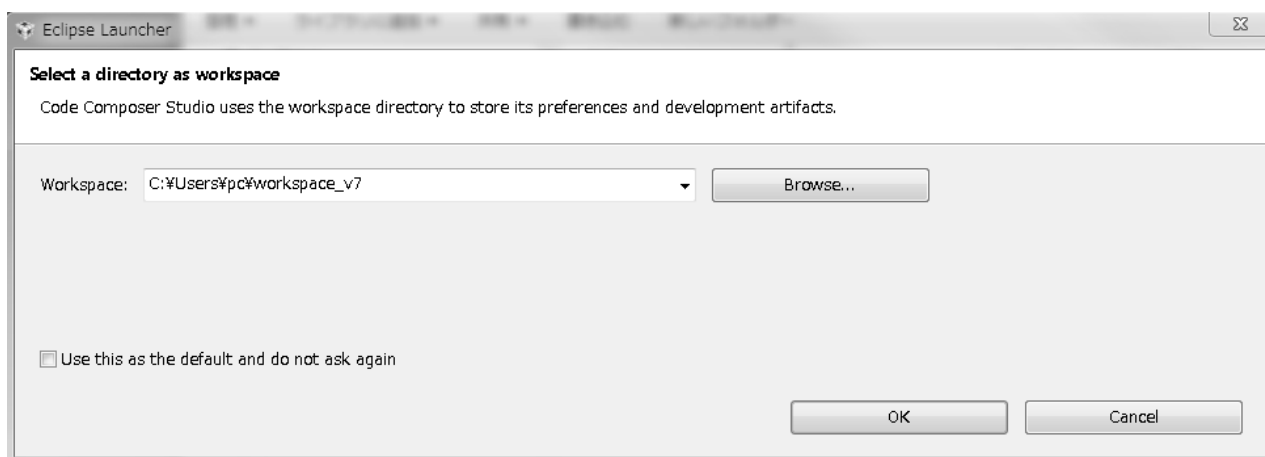
9. インストールを開始します。欲張って全部入れると時間がかかります。



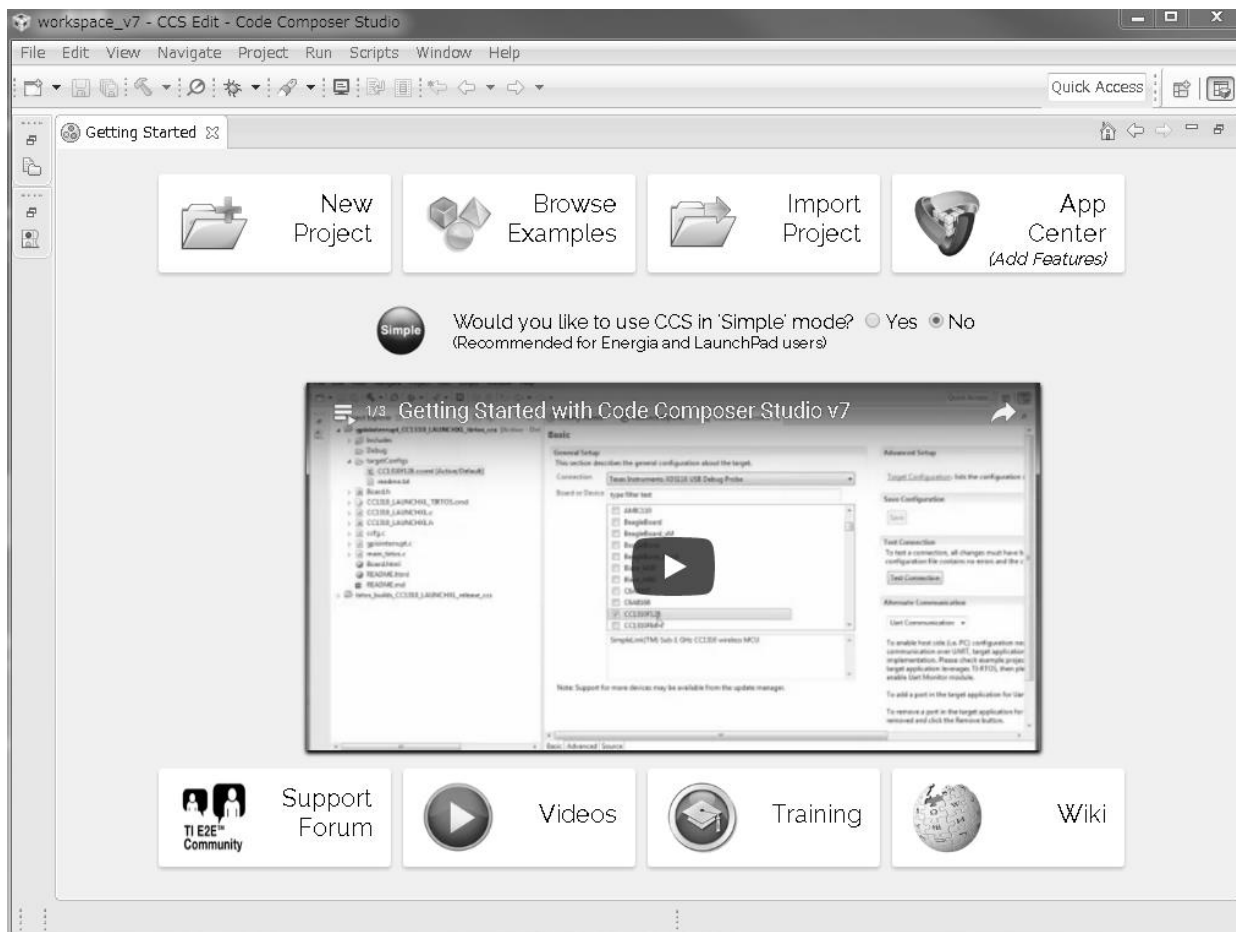
10.インストール完了です。あと一息！



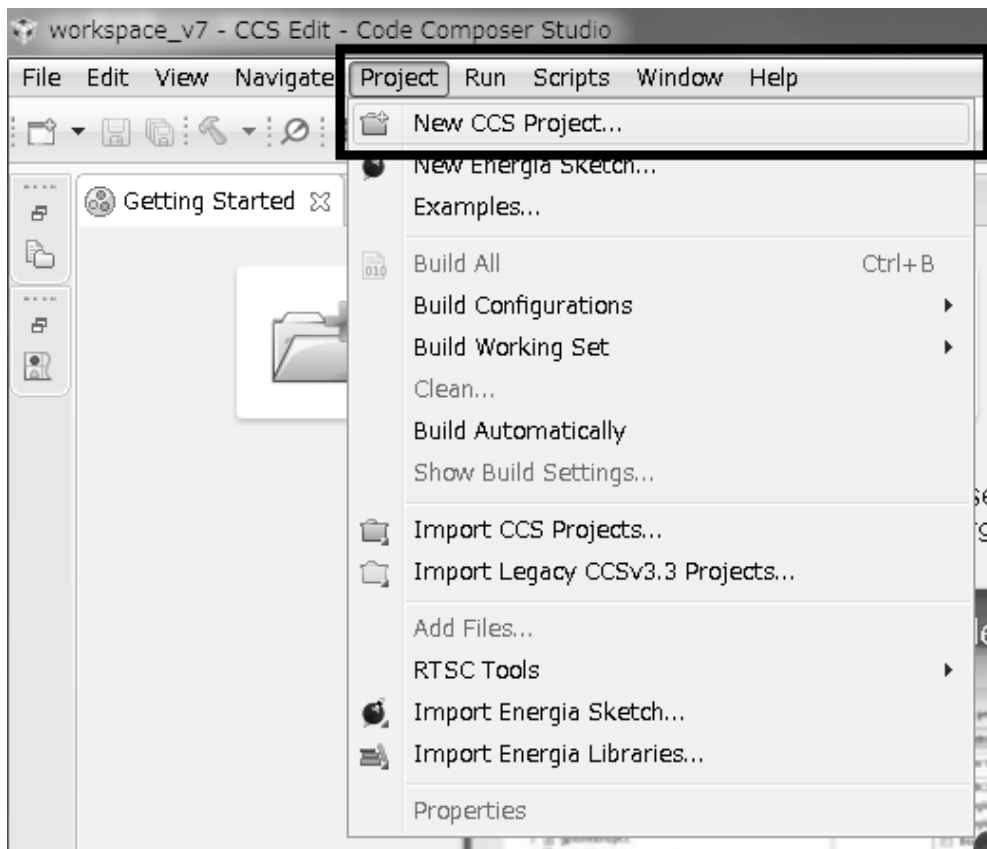
11.自動で CCS が再起動したのちプロジェクトを置く場所、ワークスペースの場所を選びます。
デフォルトで「¥workspace_v7」が選ばれますが、不都合があれば「Browse…」で選びます。



12. Welcome to CCS ! Oh! Yeah!



13. プロジェクトファイルを作成します。左上の「Project -> New CCS project...」を選びます。



14. プロジェクトを作成します。ここでは必要最小限で説明します。

①デバイスを選びます。今回は「MSP430G2553」を選びます。

②接続方法を選びます。

③プロジェクト名を入力します。

④プロジェクトのタイプを選びます。下記にオススメを示します。

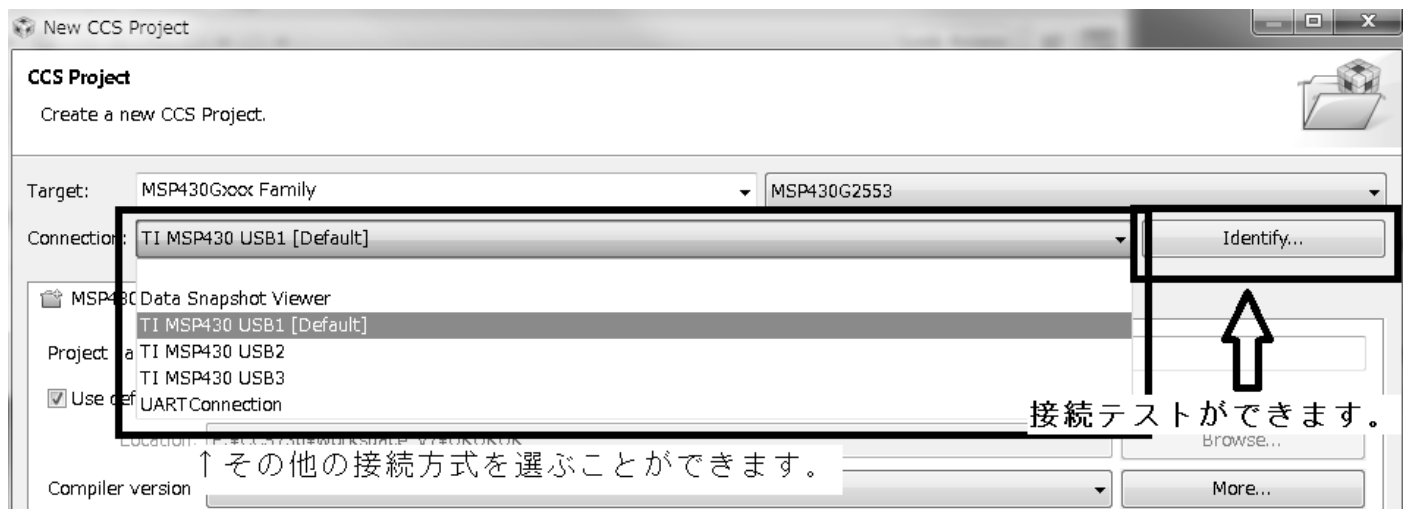
「Empty Project(with main.c)」: main.c ファイルが付加された状態で始まります。
ここにプログラムを書いていきます。

「Blink The LED」: main.c の代わりに blink.c ファイルが付加された状態で始まります。
Launchpad 接続状態であればすぐに L チカ(LED を光らせるプログラム) が試せます。

上記を終えたら、「Finish」をクリックします。

これでプロジェクトの作成ができましたので、開発ライフをお楽しみください。

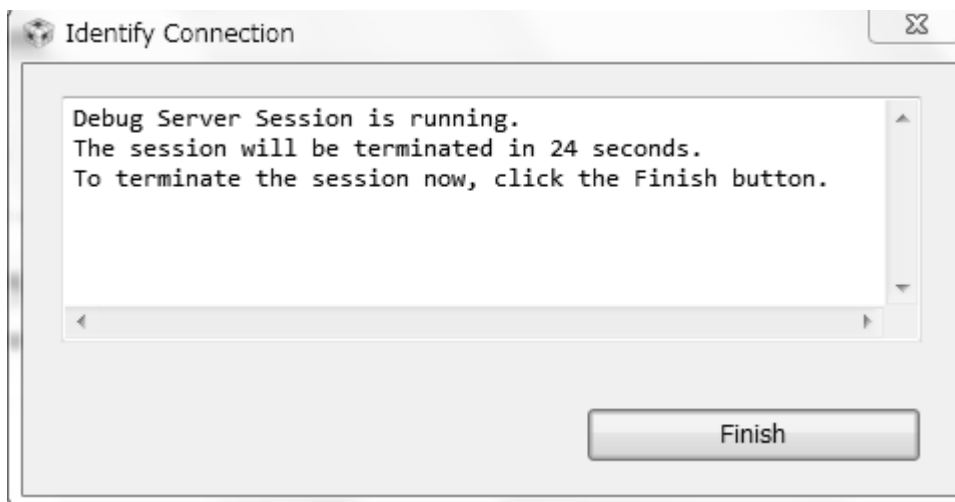
EXTRA: Launchpad が接続できている？



Launchpad がパソコンと接続できているかの確認ができます。

接続方式を選択したのち、「Identify...」ボタンをクリックします。

Launchpad との通信テストを開始した後すぐに別の画面が立ち上がり成功すれば下記のように示されます。



「Finish」をクリックして、通信に成功した通信方式に決定します。

失敗したら下記の画面が出てきます。



USB での接続を最初からやり直すなどを試してみてください。

文章の最後の方に、通信できている方法が出ている場合は、その接続方式を選んで再度試してください。